

CSVファイルレイアウト定義書

ファイル名 称	利用者補足情報
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPHOSOKU_提供年月(YYYYMM)_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV ※ 1 表、2 表に紐づく場合は提供年月は「000000」とする。
ファイル名	例：UPHOSOKU_000000_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV（1表、2表に紐づく場合） UPHOSOKU_201909_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV（6表、7表に紐づく場合）
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	居宅サービス計画作成（変更）日	8	○	YYYYMMDD 第1 表居宅サービス計画書(1)の居宅サービス計画作成（変更）日 6表、7表に紐づく場合は「00000000」とする
5	利用者氏名フリガナ	—	○	フリーテキスト
6	利用者氏名	—	○	フリーテキスト
7	利用者性別	1	○	1:男性 2:女性
8	利用者生年月日	8	○	YYYYMMDD
9	利用者郵便番号	8		XXX-XXXX
10	利用者住所 1	—		フリーテキスト
11	利用者住所 2	—		フリーテキスト
12	利用者電話番号	15		
13	認定日	8		YYYYMMDD
14	限度額適用開始年月日	8		YYYYMMDD
15	限度額適用終了年月日	8		YYYYMMDD
16	認定状況区分	1		1:申請中 2:認定済
17	要介護状態変更日	8		YYYYMMDD
18	要介護状態区分	2		06:事業対象者、12:要支援 1、13:要支援 2、21:要介護 1、22:要介護 2、23:要介護 3、24:要介護 4、25:要介護 5
19	区分支給限度基準額	7		
20	1 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
21	1 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する
22	1 合計単位数	7		同上
23	1 限度超単位数	7		同上
24	2 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
25	2 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する
26	2 合計単位数	7		同上
27	2 限度超単位数	7		同上
28	3 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
29	3 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する
30	3 合計単位数	7		同上
31	3 限度超単位数	7		同上
32	4 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
33	4 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は 1 枠から順番に設定する
34	4 合計単位数	7		同上
35	4 限度超単位数	7		同上

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
36	5 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
37	5 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する
38	5 合計単位数	7		同上
39	5 限度超単位数	7		同上
40	6 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
41	6 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する
42	6 合計単位数	7		同上
43	6 限度超単位数	7		同上
44	7 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
45	7 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する
46	7 合計単位数	7		同上
47	7 限度超単位数	7		同上
48	8 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
49	8 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する
50	8 合計単位数	7		同上
51	8 限度超単位数	7		同上
52	9 サービス種類コード	2		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する 短期入所療養介護の場合は22:短期入所療養介護（介護老人保健施設）を設定する
53	9 支給限度基準額	7		サービス種類別限度額管理が必要な場合は1 枠から順番に設定する
54	9 合計単位数	7		同上
55	9 限度超単位数	7		同上
56	合計限度超単位数	7		
57	入所前月迄利用日数	5		
58	入所累積利用日数	5		
59	前回要介護状態区分	2		06:事業対象者、12:要支援 1、13:要支援 2、21:要介護 1、22:要介護 2、23:要介護 3、24:要介護 4、25:要介護 5
60	同意書受付業者	10		居宅支援事業者番号
61	更新業者コード	10		居宅支援事業者番号
62	識別子	1		※使用しない
63	対象年月	6	○	YYYYMM 1表、2表に紐づく場合は「000000」とする

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	居宅サービス計画1 表
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UP1KYO_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
ファイル名	例：UP1KYO_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	作成年月日	8	○	YYYYMMDD
5	利用者郵便番号	8		XXX-XXXX
6	利用者住所 1	—		フリーテキスト
7	利用者住所 2	—		フリーテキスト
8	居宅サービス計画作成者氏	—	○	フリーテキスト
9	介護支援事業者名	—	○	フリーテキスト
10	介護支援事業者郵便番号	8		XXX-XXXX
11	介護支援事業者住所 1	—		フリーテキスト
12	介護支援事業者住所 2	—		フリーテキスト
13	介護支援事業者コード	10	○	居宅支援事業者番号
14	居宅サービス計画作成（変更）日	8	○	YYYYMMDD
15	初回居宅サービス計画作成	8	○	YYYYMMDD
16	計画書区分	2		11:初回、12:紹介、21:継続、51:初回&紹介、52:初回&継続、53:紹介&継続、54:初回&紹介&継続
17	認定状況区分	1		1:申請中 2:認定済
18	認定日	8		YYYYMMDD
19	認定有効期間開始日	8		YYYYMMDD
20	認定有効期間終了日	8		YYYYMMDD
21	要介護状態区分	2		06:事業対象者、12:要支援 1、13:要支援 2、21:要介護 1、22:要介護 2、23:要介護 3、24:要介護 4、25:要介護 5
22	利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果	—		フリーテキスト
23	介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	—		フリーテキスト
24	総合的な援助の方針	—		フリーテキスト
25	生活援助中心型の算定理由	1		1:一人暮らし 2:家族等が障害、疾病等 3:その他
26	その他理由	—		フリーテキスト
27	更新業者コード	10		居宅支援事業者番号
28	識別子	1		※使用しない

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	居宅サービス計画1 表_削除
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	DLT1KYO_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
フ ァ イ ル 名	例：DLT1KYO_03000000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。
使 用 目 的	データを削除する場合は、以下の書式に従って削除レコード作成して送信する。なお、項目は全て必須項目とする。 ※第2表情報については上記の情報と連動して削除される。

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789
4	居宅サービス計画作成 （変更）日	8	○	YYYYMMDD 削除する居宅計画書の居宅サービス計画作成（変更）日

ファイル名 称	居宅サービス計画2 表
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UP2KYO_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
フ ァ イ ル 名	例：UP2KYO_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	居宅計画書作成年月日	8	○	YYYYMMDD
5	居宅サービス計画作成（変更）日	8	○	YYYYMMDD
6	課題NO	2		課題NO 1～99
7	課題	—		フリーテキスト
8	援助目標NO	2		課題に対する援助NO 1～99
9	長期目標	—		フリーテキスト
10	短期目標	—		フリーテキスト
11	長期期間	—		フリーテキスト
12	短期期間	—		フリーテキスト
13	援助内容NO	2		目標に対する内容NO 1～99
14	サービス内容	—		フリーテキスト
15	保険対象区分	1		Y:対象 N:対象外
16	サービス種別	—		フリーテキスト
17	サービス事業者コード	10		
18	サービス事業所名	—		フリーテキスト
19	頻度	—		フリーテキスト
20	実施期間	—		フリーテキスト
21	更新業者コード	10		居宅支援事業者番号
22	識別子	1		※使用しない

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル 名 称	居宅サービス計画 3 表
ファイル 形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UP3KYO_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
フ ァ イ ル 名	例：UP3KYO_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	週間サービス計画表作成年月日	8	○	○	YYYYMMDD
5	居宅サービス計画作成（変更）日	8	○	○	YYYYMMDD
6	介護サービス内容	—			フリーテキスト
7	曜日	1			月曜日:1、火曜日:2、水曜日:3、木曜日:4、金曜日:5、土曜日:6、日曜日:7
8	開始時間	4			HHMM
9	終了時間	4			HHMM
10	主な日常生活上の活動	—			フリーテキスト
11	開始時間	4			HHMM
12	終了時間	4			HHMM
13	週単位以外のサービス	—			フリーテキスト

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	第6 表（サービス利用票）、実績情報
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。 外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名（計画） ファイル名規約	UPPLAN_対象年月（YYYYMM）_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV 例：UPPLAN_201912_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル名（実績） ファイル名規約	UPJSK_対象年月（YYYYMM）_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV 例：UPJSK_201912_0300000005_430_0300000100_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	複数のサービス提供年月の情報を纏めて作成することはできない。1 ファイル内は単月のサービス提供年月の情報のみとする。

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	保険者番号 ※住所地特例のサービスの場合はサービス提供事業所が取り込んだ後に手動で修正
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789
4	作成年月日	8	○	YYYYMMDD
5	対象年月	6	○	YYYYMM
6	プラン担当者コード	10	○	居宅支援事業者番号
7	プラン担当者名	—		フリーテキスト
8	単位数	6	○	整数 サービスの単位数 ※区分支給限度基準額は利用者基本情報のNo18 に記載 ※率加減算で求められるサービスコードについては実績ファイル時は任意設定（単位数を計算できない場合は0を設定）とする ※給付管理で対象となる場合は共生型サービスも連携対象とし、月初日のみに減算の単位数を設定し、その他の日は0を設定する ※割引後単位数を記載
9	前月までの短期入所利用 日数	5		
10	サービス利用日	8	○	YYYYMMDD ※「17:福祉用具貸与」の場合も必ず入力 ※包括請求サービスの場合は実際のサービス利用予定日、実績日に設定する。
11	日割対象日	31		日割対象日は31桁で日割請求可能日については"1"を設定する。 例：1日～5日まで日割請求の可能期間 11111000000000000000000000000000 ※日割り以外はNull（空）とする ※月単位の算定による加算については、取込側で1回分の取込として制御すること
12	サービス開始時刻	4	○	時間表示有りのサービス：HHMM 時間表示の無いサービス：9999 ※居宅支援事業者からの送信ファイルの場合は予定の時刻を、介護サービス事業所からの送信ファイルの場合は実績の時刻を記載 ※基本サービスに紐づく加算には同じ時間を設定する ※以下に示す加減算は原則として時間を設定すること。ただし、「パーセント加算」は除く。 ・算定単位が1回につきの「単独加減算」 ・通所介護等の「入浴介助加算（Ⅰ）・（Ⅱ）」、「個別機能訓練加算（Ⅰ）」 ※算定単
13	サービス終了時刻	4	○	※サービス開始時刻と同様
14	サービス回数	2	○	1日に複数回算定可能なサービスの回数
15	サービスコード	6	○	最新版の介護給付費単位数等サービスコード表のサービスコードを参照
16	TAISコード	12		公益財団法人テクノエイド協会が管理・運用する福祉用具情報システム（TAIS）上の管理コード 例:00001－000010 ※サービスコード(No.15)の値が以下の場合は、本項目または福祉用具届出コード(No.17)のどちらかを入力すること 17 福祉用具貸与
17	福祉用具届出コード	12		公益財団法人テクノエイド協会が管理・運用する福祉用具情報システム（TAIS）コードを取得していない商品のコード 例:00001－000010 ※サービスコード(No.15)の値が以下の場合は、本項目またはTAISコード(No.16)のどちらかを入力すること 17 福祉用具貸与
18	用具名称（機種名）	—		フリーテキスト
19	明細判別コード			「17:福祉用具貸与」で、同一サービスコード、同一単位数の場合で明細が異なる場合は、1 からの連番を記載（1,2,3,・・・）－福祉用具以外の場合は 0 を記載 例） 「171007：手すり貸与」 300 単位・・・居室分 ⇒1 と記載 「171007：手すり貸与」 300 単位・・・廊下分 ⇒2 と記載 「17:福祉用具貸与」以外の場合は「Null（空）」とする
20	サービス事業者コード	10	○	サービス事業者コード 居宅支援事業者からの送信ファイル の場合は予定の事業者コードを、介護サービス事業所からの送信ファイルの場合は実績の事業者コードを記載
21	サービス事業所名	—		フリーテキスト 居宅介護支援事業者からの送信ファイル の場合は予定の事業者名を、介護サービス事業所からの送信ファイルの場合は実績の事業者名を記載
22	サテライト枝番	2		事業所番号、サービス種類が同様のサテライトが存在する場合は、事業所でサテライトを識別するために定めている固有の番号を記載、定めていない場合は、1 からの連番を記載 （1,2,3,・・・） サテライトでない場合はNull（空）を記載
23	3 0 日超区分	1	○	1：該当、0：非該当
24	更新業者コード	10		予定の場合は居宅介護支援事業者番号、実績の場合はサービス事業者番号
25	識別子	1		※使用しない

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	第6 表（サービス利用票）、実績情報_削除
ファイル 形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
フ ァ イ ル 名（計画） ファイル名規約	DLTPLAN_対象年月（YYYYMM）_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
	例：DLTPLAN_201912_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
フ ァ イ ル 名（実績） ファイル名規約	DLTJSK_対象年月（YYYYMM）_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
	例：DLTJSK_201912_0300000005_430_0300000100_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	複数のサービス提供年月の情報を纏めて作成することはできない。1 ファイル内は単月のサービス提供年月の情報のみとする。
使 用 目 的	データを削除する場合は、以下の書式に従って削除レコード作成して送信する。なお、項目は全て必須項目とする。

【計画の場合】

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	削除対象年月	6	○	削除対象のサービス提供年月（YYYYMM）

【実績の場合】

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	削除対象年月	6	○	削除対象のサービス提供年月（YYYYMM）
5	サービス事業者コード	10	○	削除対象のサービス事業者コード
6	サービス種類	2	○	サービス種類

ファイル名称	第7表（サービス利用票別表）
ファイル形式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPSIKYU_対象年月（YYYYMM）_送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14桁）.CSV
ファイル名	例：UPSIKYU_201912_03000000100_430_03000000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	複数のサービス提供年月の情報を纏めて作成することはできない。1ファイル内は単月のサービス提供年月の情報のみとする。 サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	保険者番号
3	被保険者番号	10	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789
4	作成年月日	8	○	YYYYMMDD 第7表（サービス利用表別表）を作成した年月日
5	対象年月	6	○	YYYYMM
6	サービス事業所名	—		フリーテキスト サービス事業所名
7	サービス事業所コード	10	○	サービス事業所コード 全合計の場合はALL9（9999999999）とする。
8	サテライト枝番	2		事業所番号、サービス種類が同様のサテライトが存在する場合は、サテライトを識別するための枝番を記載 サテライトでない場合はNull（空）を記載
9	サービスコード	6	○	最新版の介護給付費単位数等サービスコード表のサービスコードを参照 但し、種類別小計（区分支給対象、区分支給対象外、30日超過分）、全合計の場合は以下を記載 ・区分支給対象種類別小計：CD（サービス種別）＋‘AAAA’（サービスコードが複数行の場合は必須） ・区分支給対象外種類別小計：CD（サービス種別）＋‘EEEE’（任意出力） ・30日超過分種類別小計：CD（サービス種別）＋‘ZZZZ’（任意出力） ・全合計：ALL9（999999） 固定（必須出力）
10	TAISコード	12		公益財団法人テクノエイド協会が管理・運用する福祉用具情報システム（TAIS）上の管理コード 例:00001－000010 ※サービスコード(No.19)の値が以下の場合は、本項目または福祉用具届出コード(No.11)のどちらかを入力すること 17 福祉用具貸与
11	福祉用具届出コード	12		公益財団法人テクノエイド協会が管理・運用する福祉用具情報システム（TAIS）コードを取得していない商品のコード 例:00001－000010 ※サービスコード(No.19)の値が以下の場合は、本項目またはTAISコード(No.10)のどちらかを入力すること
12	用具名称（機種名）	—		フリーテキスト
13	単位数	6	○	整数 種類別小計及び全合計の場合は0 固定 ※給付管理で対象となる場合は共生型サービスも連携対象とし、月初日のみに減算の単位数を設定し、その他の日は0を設定する
14	割引後率	5		整数 種類別小計及び全合計の場合はNull（空） 固定
15	割引後単位数	6		整数 種類別小計及び全合計の場合はNull（空） 固定
16	回数／日数	3	○	整数
17	サービス単位金額	5		整数
18	給付管理単位数	6		整数 区分支給限度外のサービスの場合はNull（空） 固定 但し、大規模型通所系サービス、および小多機、看多機の同一建物に居住する者のサービスが含まれない場合は、出力側のシステム仕様に準じて給付管理単位数、またはNullを選択可能とする。
19	種類支給限度基準超単位数	6		整数
20	種類支給限度基準内単位数	6		整数
21	区分支給限度基準超単位数	6		整数
22	区分支給限度基準内単位数	6		整数
23	単位数単価	6		99.99 形式で入力
24	費用総額保険／事業対象分	6		整数
25	給付率	6		整数
26	保険／事業費請求額	6		整数
27	定額利用者負担単価金額	6		整数
28	利用者負担保険／事業対象	6		整数
29	利用者負担（全額負担分）	6		整数
30	前月までの利用日数	2		整数
31	当月の計画利用日数	2		整数
32	累積利用日数	5		整数
33	30日超区分	1	○	1：該当、0：非該当
34	事業所コード	10		9999999999を固定でセット
35	入力者コード	10		
36	更新業者コード	10		居宅介護支援事業者番号
37	識別子	1		※使用しない

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	利用者基本情報
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPKIHON_送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS(14桁).CSV
ファイル名	例：UPKIHON_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789
4	相談日	8	○	○	YYYYMMDD
5	計画種類	1	○	○	1:介護予防支援、2:介護予防ケアマネジメント
6	委託の有無	1		○	1:自前、2:委託 ※地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所のどちらの場合も記入
7	作成担当者	—			フリーテキスト
8	相談方法	2			01:来所、02:電話、03:その他 「03:その他」の場合は、「相談方法(その他の内容)」に内容を記載する。
9	相談方法(その他の内容)	—			フリーテキスト
10	相談回数	2			01:初回、02:再来
11	前回相談日	8			YYYYMMDD
12	利用者の現況	2			01:在宅、02:入院又は入所中 「02:入院又は入所中」の場合は、「本人の現況(状況補足)」に内容を記載する。
13	利用者の現況(状況補足)	—			フリーテキスト
14	利用者氏名フリガナ	—	○	○	フリーテキスト
15	利用者氏名	—	○	○	フリーテキスト
16	利用者性別	1	○	○	1:男性 2:女性
17	利用者生年月日	8	○	○	YYYYMMDD
18	利用者住所	—			フリーテキスト
19	利用者電話番号	15			
20	利用者Fax番号	15			
21	障害高齢者の日常生活自立	2			01:自立、11:J1、12:J2、21:A1、22:A2、31:B1、32:B2、41:C1、42:C2
22	認知症高齢者の日常生活自立度	2			01:自立、02:I、03:Ⅱ a、04:Ⅱ b、05:Ⅲ a、06:Ⅲ b、07:Ⅳ、08:M
23	要介護状態区分	2			01:非該当、12:要支援1、13:要支援2、21:要介護1、22:要介護2、23:要介護3、24:要介護4、
24	認定有効期限開始日	8			YYYYMMDD
25	認定有効期間終了日	8			YYYYMMDD
26	前回の介護度	2			01:非該当、12:要支援1、13:要支援2、21:要介護1、22:要介護2、23:要介護3、24:要介護4、
27	基本チェックリスト記入結	1			1:事業対象者の該当あり、2:事業対象者の該当なし
28	基本チェックリスト記入日	8			YYYYMMDD
29	障害等認定(身障)	1			1:該当、0:非該当
30	障害等認定(療育)	1			1:該当、0:非該当
31	障害等認定(精神)	1			1:該当、0:非該当
32	障害等認定(難病)	1			1:該当、0:非該当
33	障害等認定特記事項	—			フリーテキスト
34	居住形態	2			01:自宅、02:借家、03:一戸建て、04:集合住宅、05:自宅・一戸建て、06:自宅・集合住宅、07:借家・一戸建て、08:借家・集合住宅
35	自室の階数	2			
36	住宅改修の有無	1			1:有、2:無
37	経済状況(国民年金)	1			1:該当、0:非該当
38	経済状況(厚生年金)	1			1:該当、0:非該当
39	経済状況(障害年金)	1			1:該当、0:非該当
40	経済状況(生活保護)	1			1:該当、0:非該当
41	経済状況詳細	—			フリーテキスト

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
42	来所者(相談者)氏名	—			フリーテキスト
43	来所者(相談者)住所	—			フリーテキスト 本仕様どおりに情報を連携させる必要があるが、送り元の介護ソフトの事情により、本項目に住所以外の情報が記載される可能性に留意すること
44	来所者(相談者)電話番号	15			
45	来所者(相談者)続柄	—			フリーテキスト
46	1 緊急連絡先(氏名)	—			フリーテキスト
47	1 緊急連絡先(続柄)	—			フリーテキスト
48	1 緊急連絡先(住所)	—			フリーテキスト 本仕様どおりに情報を連携させる必要があるが、送り元の介護ソフトの事情により、本項目に住所以外の情報が記載される可能性に留意すること
49	1 緊急連絡先(電話番号)	15			
50	2 緊急連絡先(氏名)	—			フリーテキスト
51	2 緊急連絡先(続柄)	—			フリーテキスト
52	2 緊急連絡先(住所)	—			フリーテキスト 本仕様どおりに情報を連携させる必要があるが、送り元の介護ソフトの事情により、本項目に住所以外の情報が記載される可能性に留意すること
53	2 緊急連絡先(電話番号)	15			
54	3 緊急連絡先(氏名)	—			フリーテキスト
55	3 緊急連絡先(続柄)	—			フリーテキスト
56	3 緊急連絡先(住所)	—			フリーテキスト 本仕様どおりに情報を連携させる必要があるが、送り元の介護ソフトの事情により、本項目に住所以外の情報が記載される可能性に留意すること
57	3 緊急連絡先(電話番号)	15			
58	4 緊急連絡先(氏名)	—			フリーテキスト
59	4 緊急連絡先(続柄)	—			フリーテキスト
60	4 緊急連絡先(住所)	—			フリーテキスト 本仕様どおりに情報を連携させる必要があるが、送り元の介護ソフトの事情により、本項目に住所以外の情報が記載される可能性に留意すること
61	4 緊急連絡先(電話番号)	15			
62	家族構成 画像ファイル名	—			フリーテキスト 家族構成に関する画像ファイル名（JPEG形式）を記載 ■命名規則 UPKIHON_IMAGE_送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14桁）_枝番（4桁）.jpg ※「送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14桁）」は必ず利用者に基き情報を入力（同一様式）
63	家族関係等の状況	—			フリーテキスト
64	今までの生活	—			フリーテキスト
65	1日の生活・過ごし方(生活全般)	—			フリーテキスト
66	趣味・楽しみ・特技	—			フリーテキスト
67	友人・地域との関係	—			フリーテキスト
68	現在利用している公的サービス	—			フリーテキスト
69	現在利用している非公的サービス	—			フリーテキスト
70	同意日	8			YYYYMMDD
71	同意者氏名	—			フリーテキスト

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	利用者基本情報_削除
ファイル形 式 (区切文字)	CSV (,)
文字コード	Shift-JIS (MS932) とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS (MS932) の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS (MS932) の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS (MS932) の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	DLTKIHON_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS (14 桁) .CSV
フ ァ イ ル 名	例 : DLTkihON_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例 : H123456789
4	相談日	8	○	○	YYYYMMDD 削除する利用者基本情報の相談日

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	利用者基本情報（別表1） 1日の生活・過ごし方(タイムスケジュール)
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPKIHON_SUB1_送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS(14桁).CSV ※「送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14桁）」は紐づく利用者基本情報のファイルと同様とする。
フ ァ イ ル 名	例：UPKIHON_SUB1_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード ※紐づく「利用基本情報」レコードの「保険者番号」と同様の値を記載
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789 ※紐づく「利用基本情報」レコードの「被保険者番号」と同様の値を記載
4	相談日	8	○	○	YYYYMMDD ※紐づく「利用基本情報」レコードの「相談日」と同様の値を記載
5	時間	—			フリーテキスト
6	本人の生活状況	—			フリーテキスト
7	介護者・家族の生活状況	—			フリーテキスト

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	利用者基本情報（別表2）現病歴・既往歴
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPKIHON_SUB2_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS(14 桁).CSV ※「送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）」は紐づく利用者基本情報のファイルと同様とする。
フ ァ イ ル 名	例：UPKIHON_SUB2_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード ※紐づく「利用基本情報」レコードの「保険者番号」と同様の値を記載
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789 ※紐づく「利用基本情報」レコードの「被保険者番号」と同様の値を記載
4	相談日	8	○	○	YYYYMMDD ※紐づく「利用基本情報」レコードの「相談日」と同様の値を記載
5	年月日	—			フリーテキスト
6	病名	—			フリーテキスト
7	医療機関・医師名	—			フリーテキスト
8	主治医・意見作成者フラグ	1			1:主治医、2:それ以外
9	医療機関・医師電話番号	15			
10	経過	2			01:治療中、02:経過観察中、03:その他
11	治療中の内容	—			フリーテキスト

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	介護予防サービス・支援計画書
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPYOBO_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
フ ァ イ ル 名	例：UPYOBO_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789
4	計画作成(変更)日	8	○	○	YYYYMMDD
5	計画種類	1	○	○	1:介護予防支援、2:介護予防ケアマネジメント
6	委託の有無	1		○	1:自前、2:委託 ※地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所のどちらの場合も記入
7	整理番号	—			フリーテキスト
8	利用者名	—	○	○	フリーテキスト
9	認定年月日	8			YYYYMMDD
10	認定有効期間開始日	8			YYYYMMDD
11	認定有効期間終了日	8			YYYYMMDD
12	計画書区分	2			11:初回、12:紹介、21:継続、51:初回＆紹介、52:初回＆継続、53:紹介＆継続、54:初回＆紹介＆継続
13	認定状況区分	1			1:申請中、2:認定済
14	要支援状態区分	1			1:要支援 1、2:要支援 2、3:地域支援事業
15	計画作成者氏名（地域包括支援センター担当者名）	—			フリーテキスト
16	計画作成者氏名（担当介護支援専門員名）	—			フリーテキスト
17	計画作成者事業者・事業所名	—			フリーテキスト 本仕様どおりに情報を連携させる必要があるが、送り元の介護ソフトの事情により、本項目に事業所名以外の情報が記載される可能性に留意すること
18	計画作成者事業者・事業所住所	—			フリーテキスト
19	計画作成者事業者・事業所電話番号	15			
20	初回作成日	8			YYYYMMDD
21	担当地域包括支援センター	—			フリーテキスト
22	目標とする生活(1日)	—			フリーテキスト
23	目標とする生活(1年)	—			フリーテキスト
24	【運動・移動】現在の状況	—			フリーテキスト
25	【運動・移動】本人・家族の意欲・意向	—			フリーテキスト
26	【運動・移動】領域における課題の有無	1			1:有、2:無
27	【運動・移動】領域における課題（背景・原因）	—			フリーテキスト
28	【日常生活(家庭生活)】現在の状況	—			フリーテキスト
29	【日常生活(家庭生活)】本人・家族の意欲・意向	—			フリーテキスト
30	【日常生活(家庭生活)】領域における課題の有無	1			1:有、2:無
31	【日常生活(家庭生活)】領域における課題（背景・原因）	—			フリーテキスト
32	【社会参加、対人関係・コミュニケーション】現在の状況	—			フリーテキスト

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
33	【社会参加、対人関係・コミュニケーション】本人・家族の意欲・意向	—			フリーテキスト
34	【社会参加、対人関係・コミュニケーション】領域における課題の有無	1			1:有、2:無
35	【社会参加、対人関係・コミュニケーション】領域における課題（背景・原因）	—			フリーテキスト
36	【健康管理】現在の状況	—			フリーテキスト
37	【健康管理】本人・家族の意欲・意向	—			フリーテキスト
38	【健康管理】領域における課題の有無	1			1:有、2:無
39	【健康管理】領域における課題（背景・原因）	—			フリーテキスト
40	健康状態の留意点	—			フリーテキスト
41	妥当な支援の実施に向けた方針	—			フリーテキスト
42	総合的な方針	—			フリーテキスト
43	基本チェックリストの該当数(運動不足)	1			
44	基本チェックリストの該当数(栄養改善)	1			
45	基本チェックリストの該当数(口腔内ケア)	1			
46	基本チェックリストの該当数(閉じこもり予防)	1			
47	基本チェックリストの該当数(物忘れ予防)	1			
48	基本チェックリストの該当数(うつ予防)	1			
49	事業プログラムの要否(運動不足)	1			1:要、2:否
50	事業プログラムの要否(栄養改善)	1			1:要、2:否
51	事業プログラムの要否(口腔内ケア)	1			1:要、2:否
52	事業プログラムの要否(閉じこもり予防)	1			1:要、2:否
53	事業プログラムの要否(物忘れ予防)	1			1:要、2:否
54	事業プログラムの要否(うつ予防)	1			1:要、2:否
55	地域包括支援センター意見	—			フリーテキスト
56	同意日	8			YYYYMMDD
57	同意者氏名	—			フリーテキスト

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	介護予防サービス・支援計画書_削除
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	DLTYOBO_送信元の事業所番号(10 桁)_送信元のサービスコード(3 桁)_送信先の事業所番号(10 桁)_送信先のサービスコード(3 桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14 桁）.CSV
フ ァ イ ル 名	例：DLTYOBO_0300000100_430_03000000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H+ 数字9桁 例：H123456789
4	計画作成(変更)日	8	○	○	YYYYMMDD 削除する介護予防サービス・支援計画書の計画作成(変更)日

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

ファイル名 称	介護予防サービス・支援計画書 （別表）支援計画
ファイル形 式（区切文字）	CSV（,）
文字コード	Shift-JIS（MS932）とし、出力されるCSVファイルには、Shift-JIS（MS932）の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字やShift-JIS（MS932）の文字セット外の文字が含まれる場合はShift-JIS（MS932）の範囲内で有効な文字に変換すること
ファイル名規約	UPYOBO_SUB_送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14桁）.CSV ※「送信元の事業所番号(10桁)_送信元のサービスコード(3桁)_送信先の事業所番号(10桁)_送信先のサービスコード(3桁)_YYYYMMDDHHMMSS（14桁）」は紐づく介護予防サービス・支援計画書のファイルと同様とする。
ファイル名	例：UPYOBO_SUB_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV
ファイル作成単位	サテライトに関わらず事業所番号・サービス種類が同じであれば、一つのファイルにまとめる。

No.	日本語名称	項目長	必須	必要	書式、選択肢など
1	CSVバージョン	6	○	○	YYYYMM 本仕様が制度改正などに伴い改版された際にバージョン年月を更新する CSVバージョンが変更された場合、新しいバージョンの適用年月となるサービス提供年月から適用する 1ファイル中に複数のCSVバージョンのレコードを混在させることはできない
2	保険者番号	6	○	○	要介護者が属する自治体のコード ※紐づく「介護予防サービス・支援計画書」レコードの「保険者番号」と同様の値を記載
3	被保険者番号	10	○	○	被保険者番号 生保単独の場合は 先頭H＋数字9桁 例：H123456789 ※紐づく「介護予防サービス・支援計画書」レコードの「被保険者番号」と同様の値を記載
4	計画作成(変更)日	8	○	○	YYYYMMDD ※紐づく「介護予防サービス・支援計画書」レコードの「計画作成(変更)日」と同様の値を記載
5	課題NO	2			フリーテキスト
6	総合的課題	—			フリーテキスト
7	課題に対する目標と具体策の提案	—			フリーテキスト
8	具体策についての意向本人・家族	—			フリーテキスト
9	目標	—			フリーテキスト
10	支援計画NO	2			フリーテキスト
11	【支援計画】目標についての支援のポイント	—			フリーテキスト
12	【支援計画】本人等のセルフケアや家族の支援、インフォーマルサービス（民間サービス）	—			フリーテキスト
13	【支援計画】介護保険サービス又は地域支援事業（総合事業のサービス）	—			フリーテキスト
14	利用サービスNO	2			フリーテキスト
15	【利用サービス】サービス種別	—			フリーテキスト
16	【利用サービス】事業所(利用先)	—			フリーテキスト
17	【利用サービス】期間	—			フリーテキスト

※フリーテキストは""（半角）で囲い、改行、半角カンマ（,）は削除しない。フリーテキストに含まれる"（半角）は""（半角2文字）に変換してエスケープすること。

【居宅介護支援計画書1表の構成について】

第1表

居宅サービス計画書（1）

K4作成年月日年 月 日

K16初回・紹介・継続K17認定済・申請中

R6利用者名殿R8生年月日R10,R11住所

K8居宅サービス計画作成者氏名

K9,K10,K11,K12居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地

K14居宅サービス計画作成（変更）日年 月 日K15初回居宅サービス計画作成日年 月 日

K18認定日年 月 日K19認定の有効年 月 日～年 月 日K20

要介護状態区分	要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5K21
利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果	K22
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	K23
総合的な援助の方針	K24
生活援助中心型の算定理由	K25 1.一人暮らし2.家族等が障害、疾病等3.その他（K26）

居宅サービス計画1表

#	項目名
1	CSVバージョン
2	保険者番号
3	被保険者番号
4	作成年月日
5	利用者郵便番号
6	利用者住所 1
7	利用者住所 2
8	居宅サービス計画作成者氏名
9	介護支援事業者名
10	介護支援事業者郵便番号
11	介護支援事業者住所 1
12	介護支援事業者住所 2
13	介護支援事業者コード
14	居宅サービス計画作成（変更）日
15	初回居宅サービス計画作成日
16	計画書区分
17	認定状況区分
18	認定日
19	認定有効期間開始日
20	認定有効期間終了日
21	要介護状態区分
22	利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果
23	介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定
24	総合的な援助の方針
25	生活援助中心型の算定理由
26	その他理由
27	更新業者コード
28	識別子

利用者補足情報

#	項目名
1	CSVバージョン
2	保険者番号
3	被保険者番号
4	居宅サービス計画作成（変更）日
5	利用者氏名フリガナ
6	利用者氏名
7	利用者性別
8	利用者生年月日
9	利用者郵便番号
10	利用者住所 1
11	利用者住所 2
12	利用者電話番号
13	認定日
14	限度額適用開始年月日
15	限度額適用終了年月日
16	認定状況区分
17	要介護状態変更日
18	要介護状態区分
19	区分支給限度基準額
20	1 サービス種類コード
21	1 支給限度基準額
22	1 合計単位数
23	1 限度超単位数
～	～
52	9 サービス種類コード
53	9 支給限度基準額
54	9 合計単位数
55	9 限度超単位数
56	合計限度超単位数
57	入所前月迄利用日数
58	入所累積利用日数
59	前回要介護状態区分
60	同意書受付業者
61	更新業者コード
62	識別子
63	対象年月

新規追加

インタフェース項目と居宅サービス計画3表の項目の対応付けは下記の通り

週間サービス計画表

作成年月日④

利用者		②③⑤を元に利用者補足情報から取得							主な日常生活上の活動
		月	火	水	木	金	土	日	
深夜	0:00								
	2:00								
	4:00								
	6:00								
早朝	8:00								
午前	10:00								
	12:00								
	14:00				⑥⑦⑧⑨				⑩⑪⑫
	16:00								
午後	18:00								
	20:00								
	22:00								
	24:00								
深夜	24:00								

週単位以外のサービス	⑬
------------	---

週間サービス計画表

利用者		作成年月日 2019/10/10							
		月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
深夜	0:00								
	2:00								
	4:00								
	6:00								
早朝	8:00								起床
午前	10:00								
	12:00				訪問介護				
午後	14:00	訪問介護							
	16:00								
	18:00								
夜間	20:00								
	22:00								就寝
	24:00								
深夜	24:00								

週単位以外のサービス	通院 福祉用具貸与
------------	--------------

※ レコード内容は帳票出力時のイメージで表現している。(実データ上はコード値とする)

【利用表の構成について】

[illegible]

第6表(サービス利用票)

#	項目名	鑑	行情報	セル情報
1	CSVバージョン			
2	保険者番号	●		
3	被保険者番号	●		
4	作成年月日	●		
5	対象年月	●		
6	プラン担当業者コード	●		
7	プラン担当者名	●		
8	単位数		●	
9	前月までの短期入所利用日数	●		
10	サービス利用日			●
11	日割対象日		●	
12	サービス開始時刻		●	
13	サービス終了時刻		●	
14	サービス回数			●
15	サービスコード		●	
16	TAISコード		●	
17	福祉用具届出コード		●	
18	用具名称（機種名）		●	
19	明細判別コード		●	
20	サービス事業者コード		●	
21	サービス事業所名		●	
22	サテライト枝番		●	
23	30日超区分		●	
24	更新業者コード			
25	識別子			

利用者補足情報

#	項目名	鑑	行情報	セル情報
1	CSVバージョン			
2	保険者番号			
3	被保険者番号			
4	居宅サービス計画作成（変更）日			
5	利用者氏名フリガナ	●		
6	利用者氏名	●		
7	利用者性別	●		
8	利用者生年月日	●		
9	利用者郵便番号			
10	利用者住所 1			
11	利用者住所 2			
12	利用者電話番号			
13	認定日			
14	限度額適用開始年月日	●		
15	限度額適用終了年月日	●		
16	認定状況区分	●		
17	要介護状態変更日	●		
18	要介護状態区分	●		
19	区分支給限度基準額	●		
20	1 サービス種類コード			
21	1 支給限度基準額			
22	1 合計単位数			
23	1 限度超単位数			
～	～			
52	9 サービス種類コード			
53	9 支給限度基準額			
54	9 合計単位数			
55	9 限度超単位数			
56	合計限度超単位数			
57	入所前月迄利用日数	●		
58	入所累積利用日数			
59	前回要介護状態区分	●		
60	同意書受付業者			
61	更新業者コード			
62	識別子			
63	対象年月			

【利用表別表の構成について】

第7表

K4

作成年月日

サービス利用票別表

区分支給限度管理・利用者負担計算

[illegible]

種類別支給限度管理

サービス種類 ^(a)	環境支給限度基準額（単位） ^(d)	合計単位数 ^(c)	環境支給限度基準額	サービス種類 ^(a)	環境支給限度基準額（単位） ^(d)	合計単位数 ^(c)	環境支給限度基準額を超える単位数 ^(e)
a01		R20～R55					
a02							
a03							
a04							
a05							
a06							
a07							
a08							
a09							
a10							
a11							
a12							
a13							
a14							
a15							
a16							
a17							
a18							
a19							
a20							
a21							
a22							
a23							
a24							
a25							
a26							
a27							
a28							
a29							
a30							
a31							
a32							
a33							
a34							
a35							
a36							
a37							
a38							
a39							
a40							
a41							
a42							
a43							
a44							
a45							
a46							
a47							
a48							
a49							
a50							
a51							
a52							
a53							
a54							
a55							
a56							
a57							
a58							
a59							
a60							
a61							
a62							
a63							
a64							
a65							
a66							
a67							
a68							
a69							
a70							
a71							
a72							
a73							
a74							
a75							
a76							
a77							
a78							
a79							
a80							
a81							
a82							
a83							
a84							
a85							
a86							
a87							
a88							
a89							
a90							
a91							
a92							
a93							
a94							
a95							
a96							
a97							

利用者補足情報

#	項目名	鑑	行情報	種類支給
1	CSVバージョン			
2	保険者番号			
3	被保険者番号			
4	居宅サービス計画作成（変更）日			
5	利用者氏名フリガナ			
6	利用者氏名			
7	利用者性別			
8	利用者生年月日			
9	利用者郵便番号			
10	利用者住所 1			
11	利用者住所 2			
12	利用者電話番号			
13	認定日			
14	限度額適用開始年月日			
15	限度額適用終了年月日			
16	認定状況区分			
17	要介護状態変更日			
18	要介護状態区分			
19	区分支給限度基準額			
20	1 サービス種類コード			●
21	1 支給限度基準額			●
22	1 合計単位数			●
23	1 限度超単位数			●
～	～			●
52	9 サービス種類コード			●
53	9 支給限度基準額			●
54	9 合計単位数			●
55	9 限度超単位数			●
56	合計限度超単位数			●
57	入所前月迄利用日数			
58	入所累積利用日数			
59	前回要介護状態区分			
60	同意書受付業者			
61	更新業者コード			
62	識別子			
63	対象年月			

第7表(サービス利用票別表)

#	項目名	鑑	区分支給	種類支給
1	CSVバージョン			
2	保険者番号	●		
3	被保険者番号	●		
4	作成年月日	●		
5	対象年月	●		
6	サービス事業所名		●	
7	サービス事業所コード		●	
8	サテライト枝番		●	
9	サービスコード		●	
10	TAISコード		●	
11	福祉用具届出コード		●	
12	用具名称（機種名）		●	
13	単位数		●	
14	割引後率		●	
15	割引後単位数		●	
16	回数／日数		●	
17	サービス単位金額		●	
18	給付管理単位数		●	
19	種類支給限基準超単位数		●	
20	種類支給限度基準内単位数		●	
21	区分支給限度基準超単位数		●	
22	区分支給限度基準内単位数		●	
23	単位数単価		●	
24	費用総額保険／事業対象分		●	
25	給付率		●	
26	保険／事業費請求額		●	
27	定額利用者負担単価金額		●	
28	利用者負担保険／事業対象分		●	
29	利用者負担（全額負担分）		●	
30	前月までの利用日数	●		
31	当月の計画利用日数	●		
32	累積利用日数	●		
33	30日超区分		●	
34	事業所コード			
35	入力者コード			
36	更新業者コード			
37	識別子			

(補足)別表の構成について

利用者基本情報 の例

UPKIHON_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV

No.	項目名	1行目	2行目
1	CSVバージョン	202404	202404
2	保険者番号	123456	654321
3	被保険者番号	1234567890	9876543210
4	相談日	202401	202404
...	...	...	...
57	家族構成 画像ファイル名	UPKIHON_IMAGE_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201_00	UPKIHON_IMAGE_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201_00
...	...	...	...

※「利用者基本情報」の1行に対して、1ファイルの「家族構成 画像ファイル」を原則とする。

※「利用者基本情報」の1ファイルに対して、1ファイルの「利用者基本情報（別表1） 1日の生活・過ごし方(タイムスケジュール)」を原則とする。

※「利用者基本情報」の1ファイルに対して、1ファイルの「利用者基本情報（別表2）現病歴・既往歴」を原則とする。

※「利用者基本情報」の1行に対して、複数行の「利用者基本情報（別表1） 1日の生活・過ごし方(タイムスケジュール)」を可とする。

※「利用者基本情報」の1行に対して、複数行の「利用者基本情報（別表2）現病歴・既往歴」を可とする。

家族構成 画像ファイル の例

画像ファイル1：UPKIHON_IMAGE_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201_0001.JPG

画像ファイル2：UPKIHON_IMAGE_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201_0002.JPG

利用者基本情報（別表1） 1日の生活・過ごし方(タイムスケジュール) の例

UPKIHON_SUB1_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV

No.	項目名	1行目	2行目	3行目	4行目	5行目
1	CSVバージョン	202404	202404	202404	202404	202404
2	保険者番号	123456	123456	123456	654321	654321
3	被保険者番号	1234567890	1234567890	1234567890	9876543210	9876543210
4	相談日	202401	202401	202401	202404	202404
5	時間	6:00	7:30	9:00	6:00	7:00
6	本人の生活状況	起床	朝食	掃除	起床	朝食
7	介護者・家族の生活状況			妻も実施		

利用者基本情報（別表2）現病歴・既往歴 の例

UPKIHON_SUB2_0300000100_430_0300000005_110_20191025200201.CSV

No.	項目名	1行目	2行目	3行目	4行目	5行目
1	CSVバージョン	202404	202404	202404	202404	202404
2	保険者番号	123456	123456	654321	654321	654321
3	被保険者番号	1234567890	1234567890	9876543210	9876543210	9876543210
4	相談日	202401	202401	202404	202404	202404
5	年月日	H12年10月	R2年4月	R2年4月	2023/6	1990/10
6	病名	AAA	BBB	CCC	DDD	EEE
7	医療機関・医師名	XXXX	XXXX	YYYY	ZZZZ	ZZZZ
8	主治医・意見作成者フラグ	1	1	2	1	1
9	医療機関・医師電話番号	03-0000-0000	03-0000-0000	03-1111-1111	03-2222-2222	03-2222-2222
10	経過	01	01	01	01	01
11	治療中の内容	aaa	bbb	ccc	ddd	eee

(補足)別表の構成について

介護予防サービス・支援計画書 の例

UPYOB0_0300000100_430_0300000005_110_201910252002011.CSV

No.	項目名	1行目	2行目
1	CSVバージョン	202404	202404
2	保険者番号	123456	654321
3	被保険者番号	1234567890	9876543210
4	計画作成(変更)日	202401	202404
...	...	...	...

※「介護予防サービス・支援計画書」の1ファイルに対して
1ファイルの「介護予防サービス・支援計画書（別表）支援計画」を原則とする。
※「介護予防サービス・支援計画書」の1行に対して

介護予防サービス・支援計画書（別表）支援計画 の例

UPYOB0_0300000100_430_0300000005_110_201910252002011.CSV

No.	項目名	1行目	2行目	3行目	4行目	5行目	5行目
1	CSVバージョン	202404	202404	202404	202404	202404	202404
2	保険者番号	123456	123456	123456	123456	654321	654321
3	被保険者番号	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	9876543210	9876543210
4	計画作成(変更)日	202401	202401	202401	202401	202404	202404
5	課題NO	1	1	1	2	1	1
6	総合的課題	〇〇が出来なくなる可能性がある。			△△△による体調を崩す傾向がある。	〇〇が出来なくなる可能性がある。	
7	課題に対する目標と具体策の提案	〇〇を提案	①		△△を提案②	〇〇を提案	
8	具体策についての意向本人・	〇〇を希望			△△を希望	〇〇を希望	
9	目標	〇〇になること。			△△になること。	〇〇になること。	
10	支援計画NO	1	2	2	1	1	2
11	【支援計画】目標についての支援のポイント	〇〇の実施	●●の実施		△△の実施	〇〇の実施	●●の実施
12	【支援計画】本人等のセルフケアや家族の支援、インフォーマルサービス（民間	〇〇の実施③	●●の実施④		△△の実施⑤	〇〇の実施	●●の実施
13	【支援計画】介護保険サービス又は地域支援事業（総合事業のサービス）	〇〇の実施	●●の実施		△△の実施	〇〇の実施	●●の実施
14	利用サービスNO	1	1	2	1	1	1
15	【利用サービス】サービス種	介護予防通所介護	介護予防通所介護	在宅所利用⑧	介護予防通所リハビリ	介護予防通所介護	介護予防通所介護
16	【利用サービス】事業所(利用	〇〇センター⑥	〇〇センター⑦	社会福祉協議会⑧	××事業所⑨	〇〇センター	〇〇センター
17	【利用サービス】期間	6カ月間	6カ月間	6カ月間	3カ月間	6カ月間	6カ月間

■標準様式における記載例

総合的課題	課題に対する目標と具体策の提案	具体策についての意向本人・家族	目標	支援計画				
				目標についての支援のポイント	本人等のセルフケアや家族の支援、インフォーマルサービス（民間サービス）	介護保険サービス又は地域支援事業（総合事業のサービス）	サービス種別	事業所(利用先)
1. 〇〇が出来なくなる可能性がある。	〇〇を提案	① 〇〇を希望	〇〇になること。	(1) 〇〇の実施	〇〇の実施③	〇〇の実施	介護予防通所介護	〇〇センター⑥
				(1) ●●の実施	●●の実施④	●●の実施	介護予防通所介護	〇〇センター⑦
2. △△△による体調を崩す傾向がある。	△△を提案	② △△を希望	△△になること。	(2) △△の実施	△△の実施⑤	△△の実施	在宅所利用	社会福祉協議会⑧
							介護予防通所リハビリ	××事業所⑨

※同一の課題NOに複数の支援計画を含める場合は、課題NOを同一にして支援計画NOに連番を入力する。
課題の入力について、NO以外の項目は最初の行のみに内容を記載して2回目以降は空欄とする。
※同一の支援計画NOに複数の利用サービスを含める場合は、支援計画NOを同一にして利用サービスNOに連番を入力する。
支援計画の入力について、NO以外の項目は最初の行のみに内容を記載して2回目以降は空欄とする。

【コード表】

(1) 計画書区分コード

No.	コード	説明
1	11	初回
2	12	紹介
3	21	継続
4	51	初回&紹介
5	52	初回&継続
6	53	紹介&継続
7	54	初回&紹介&継続

(2) 認定状況区分コード

No.	コード	説明
1	1	申請中
2	2	認定済

(3) 要介護状態区分コード

No.	コード	説明
1	06	事業対象者□
2	12	要支援 1
3	13	要支援 2
4	21	要介護 1
5	22	要介護 2
6	23	要介護 3
7	24	要介護 4
8	25	要介護 5

(4) 生活援助中心型の算定理由コード

No.	コード	説明
1	1	一人暮らし
2	2	家族等が障害、疾病等
3	3	その他

(5) 保険対象区分コード

No.	コード	説明
1	Y	対象
2	N	対象外

【CSVバージョン履歴】

CSVバージョン値	適用開始年月	備考
201910	2020年3月	初版
202003	2020年10月	第2版：令和２年３月26 日老振発0326 第１号「『居宅介護支援事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様』について」の一部改正について」に伴う改版
202208	2023年1月	第3版：令和４年８月12日老高発0812第１号、老認発0812第１号、老老発0812第１号「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供 事業所や医療機関等との間におけるデータ連携のための標準仕様について」
202208	2023年6月	第3.1版：ファイルエンコードについてShift-JIS（MS932）を許容すること等、趣旨を明確にするための改訂
202504	2025年4月	第4版： ・第3表のCSVファイルレイアウト定義を追加。 ・複数サービス提供事業所への対応としてファイル命名規約の変更 ・第6表、第７表に「TAISコード」「福祉用具届出コード」「用具名称（機種名）」を追加。 ・「ファイル作成単位」に説明を追加。 ・以下の項目に補足説明を追加 ・第6表「単位数」 ・第6表「明細判別コード」 ・第6表「サービス開始時刻」 ・第6表「日割対象日」 ・第7表「単位数」 ・第7表の項目「回数／日数」の項目長を2桁から3桁に変更 ・介護予防に関するCSVファイルレイアウトを追加

CSVバージョン値　： バージョンを一意に表す値(改版通知の発出年月などを参考に設定)

適用開始年月　　： CSVバージョン仕様の適用を開始するサービス提供年月を示す

備考　　　　　　： 仕様改版の根拠となる改正内容、通知、イベントなどを説明